

臨床研究への協力をお願い（情報の公開について）

2027年冬の日本プライマリ・ケア連合学会（地方会）または2027年日本在宅医療連合学会大会にて、**「在宅終末期における胃瘻からの栄養投与の中止・漸減に関する意思決定プロセスの実態調査」**として研究報告を行います。

本研究では、在宅で胃瘻を使用されていた患者様の終末期において、どのような経緯や判断で栄養投与の中止・漸減が行われたのかを調査します。この研究を通じて、在宅医療における終末期の栄養管理の質向上と、ご家族や多職種への適切な意思決定支援のあり方を検討することを目的としています。

今回の研究では、過去の記録を用いる調査であるため、個々の患者さんやご遺族からの直接的な同意取得はせず、代わりに対象となる方へ向けて情報を公開することといたします。以下に研究の概要を示します。

○本研究の倫理承認について

本研究は、東京ふれあい医療生協倫理審査委員会での承認を受けて行われます。

- **研究期間：** 倫理審査委員会承認日 ～ 2027年12月31日
- **研究責任者：** 鶴若 莉央

○対象となる方は以下のとおりです

- 2020年2月から2026年1月までに、当院（梶原診療所）で看取り（または死亡退院）を行った患者様のうち、胃瘻による栄養投与を行っていて栄養投与を中止・漸減した方。

○使用させていただく情報

- 患者基本属性（年齢、性別、基礎疾患、ADL、認知症の有無と程度（日常生活自立度））
- 中止・漸減の契機（医学的要因、本人・関係者の希望、看取りへの合意状況）
- 意思決定のプロセス（意思決定に関与した人、合意形成の場とカンファレンスの有無、最終的な判断の主導者）
- 投与内容の変更経過（漸減の方法、他の代替栄養への切り替え、即時中止、期間限定試行）
- 転帰（漸減・中止後の生存期間、死因、主治医による症状緩和の主観的評価）

○研究の方法

対象となる患者様の利用させていただく過去の情報について、電子カルテから情報収集を行います。

○費用および謝礼について

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた方への謝礼等もありません。

○個人情報の保護について

患者さんの情報は個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また調査研究の成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報が公開されることはありません。

○知的財産および利益相反について

- 調査研究の結果、何らかの知的財産が生じる可能性もありますが、その権利は研究者に帰属します。
- この研究に対して開示すべき利益相反（COI）はありません。

○資料の閲覧について

研究計画書及び関連資料は、ご希望に応じて閲覧（個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限る）することができます。

◆ 本研究の対象となる方（またはそのご遺族）で、今回のデータ使用に同意されない場合やご質問については、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。同意の有無が、今後の診療や関係性に影響することは一切ございません。

【問い合わせ先】

東京ふれあい医療生協 梶原診療所：倫理審査委員会 事務局 元吉幸枝

〒114-0004 東京都北区堀船3-29-9

✉：training_center@fureaico-op.com

TEL：03-3911-5171（代表）300（内）